

小藪 誠人氏

(生野支店)

プロゴルファーのキャディを本業として活躍する同氏は、主にプロ選手2名をサポートし、昨シーズンを終えました。



プロゴルファーのキャディと同社の仕事を両立する小藪氏

小藪氏の公式SNS▶



TikTok



Instagram

サポートしたのは男子では鍋谷太一プロを24試合。女子では河本結プロを10試合で、うち2つの大会で優勝へと導きました。同氏は副業人材の採用に力を入れる給排水金具製造業の(株)村井水栓製作所(村井啓記社長||当金庫総代)に勤務し、主にゴルフのオフシーズン中、繁忙期にあたる閉栓キャップなど製品の組み立て、配達等に従事しています。業務後には大阪市内のゴルフスタジオでコーチも務めており、今後のますますの活躍が期待されます。

二藤 レール(株)

(枚岡支店)

優れた鉄鋼線材製品を一貫生産税務署から優良申告法人の表敬



表敬状を手にする阪本社長(左)と鴨田東大阪税務署長

東大阪市新町で鉄鋼線材製品の製造・販売を担う同社(阪本薫取締役||当金庫総代、阪本奉文社長)は昨年12月、東大阪税務署から優良申告法人として表敬を受けました。

戦後間もない1947年に創業した同社はさまざまな製品を素材の線材から一貫生産し、設備更新や作業環境の改善、合理化の推進を通じて品質向上に努めてきました。優良申告法人は東大阪市全法人の1%未満という狭き門で、今回の新規表敬は同社1社のみでした。

(株)東具PLAS

(深江橋支店)

マダイ釣り仕掛け「ネクタイ」東大阪ブランドに認定

東大阪市稲田新町で射出・押出成形を用いたプラスチック製品を製造販売する同社(清水貴義社長)のその押出成形の技術を用いて製造された「Salvation」ブランドに認定されました。

同製品はマダイ釣りの仕掛けに欠かせない「タイラバネクタイ」と呼ばれるツールで、独自製法の高分子素材による形状と動きで強力にマダイを引き寄せます。この独自製法が従来製品にはない付加価値を有しているとして高く評価されました。



大きなマダイも釣り上げられる「Salvation」

菊水テープ(株)

(八尾営業部)

名張でオープンファクトリー 取引先や親子連れなど連日大盛況



多くの親子が参加したオープンファクトリー

八尾市東山本新町で各種粘着テープの製造販売・輸出入を手掛ける同社(西澤大輔社長)は昨年10月、三重県の名張工場で2日間にわたってオープンファクトリーを開催しました。

八尾市を中心とした町工場のものづくり現場を体験できるイベント「Factorism」の一環で、初日は取引先など44名を招いて工場見学を行い、テープ製造の工程や機械の役割について解説しました。2日目は地域住民も交えた414名を迎え、仕事体験やワークショップを実施し、親子連れほか、多くの人が楽しい時間を過ごしました。

山下 雅史氏

(港支店)

港区に「居酒屋わかば」開店  
熟練の板前が割烹の味を提供

同氏の経営する「居酒屋わかば」が昨年12月、大阪市港区夕風にオープンしました。

割烹料理店で調理経験をもつ板前が、23年間にわたり培った技と感性で味わいや見栄え、香りを大切に、腕を振るいます。素材の持ち味を引き立てるため、だしは天然の真昆布にまぐろ節とかつお節を独自にブレンド。工夫を凝らした豊富な献立の中でも、カニクリーム春巻きと甘鯛のうろこ焼きはぜひ味わいたい逸品です。少人数の食事から会食まで、気軽に楽しめる地域の店を目指します。



昨年12月にオープンした「居酒屋わかば」

(株)ナカハシ

(南田辺支店)

自社ブランドバッグの直営店  
心齋橋から驚きと感動を発信



シンプルで個性的なバッグが並ぶ店内

大阪市東住吉区湯里でハンドバッグ・小物の製造卸を手掛ける同社(中橋晋作社長)は昨年12月、自社ブランド「kawa a i k a w a」の直営店「A T O R I E by k a w a i k a w a」を心齋橋に開店しました。直営店舗で初めて、店内に工房を併設。その場での製造や修理のほかデモンストレーションを通して職人技を披露します。今後も「ありそうでなかった」を合言葉にシンプルで個性的な製品を作り続け、驚きと感動を発信します。

東成鉄工(株)

(八尾営業部)

伊賀市に大型重量物加工工場を新築  
大型受注で業績拡大を目指す

八尾市跡部北の町でレーザ加工、タレパン加工、精密板金加工などの金属加工業を営む同社(石田裕之社長)は昨年12月、初の大型重量物加工の工場となる三重工場を三重県伊賀市に新築しました。

1933年創業の同社は、大型で高い精度を要する製品を得意とし、近年は応用試験機械や電気機械、産業機器にも挑戦しています。新工場ではシールドマシンの支えとなる大型H形鋼水力発電用の大型水圧鉄管を製造する計画であり、業績拡大につなげたい考えです。



初の大型重量物加工の工場である三重工場

せんだぎ川柳

ぐんぐん

川柳塔社副理事長 編集長 木本朱夏選

若人と若芽が伸びる春が好き 植村 箕吉

まあだだよ蓄ぐんぐん春まじか 高取 耀子

余所の子の背丈ぐんぐん瞬く間 田口美奈子

会う度に孫の背丈が伸びている 鈴木 栄子

日々ぐんぐん育つカイワレお得意 藤本 圭子

グングンと進化スマホに落ちこぼれ 岩元 一美

時流に乗り女性、パワーが活気づく 中野 博正

ぐんぐんとエンゲル係数上昇す 田尾 暉年

全株価ぐんぐん上がり庶民冷め 中谷 光男

食欲がぐんぐん進み今メタボ 浜下 栄子

5月号の題は「公園」です。4月15日締め切り。1人3句以内、ハガキでお送りください。

●投句先

〒541-0041  
大阪市中央区北浜2-5-4  
大阪シティ信用金庫 せんだぎ川柳係

※俳句の募集は現在、行っておりません。